

(仮称)小牧市こども未来館ワークショップ

～施設の心地良さについて考える～

平成30年6月9日(土)小牧市役所にて、平成30年3月策定の(仮称)小牧市こども未来館整備基本構想をもとに作成した設計案について、学識経験者や、学校地域コーディネーター、児童委員等の地域関係者、中高生、大学生など、およそ40名に参加いただき、それぞれの立場からどうしたらみんなが安全・安心に心地良く利用できるかについて意見を出し合いました。

また、こどもが利用する施設としての安全面から、入場管理等のセキュリティや、開館時間についても議論しました。



グループワークは、【2階】、【3階】、【4階】、【施設全体】と4つのテーマで6グループに分かれて実施しました。

学識経験者や地域関係者の大人達に混ざり、地元の中学生、部活でラピオを利用する高校生や保育士を目指す大学生などが、「ここの通路は広い方が安全」「こんな遊具があったら小さいこどもも楽しめるよね」などのハード面の意見のほかにも、「楽しいだけでなく、安全に過ごせるようボランティアで“見守り隊”を結成したらどうか」「地域の大人達にもっと協力してもらったら交流になるのでは」といった運営面の提案など、年齢や立場をこえて積極的に意見するなど、どのグループも活発な意見交換がされていました。



各グループ発表まとめ(抜粋)

<設計案について>

- ・年代に関係なくくつろげるよう、室内だけど森の中にあるような憩いの空間にしたらどうか
- ・こどもたちの発表の場(ステージ)があるといい
- ・工作室や理科実験室等は利用目的に応じて部屋の大きさを変えられるといい
- ・体験講座は学校教育と連携が図れるといい
- ・外国人への対応から、わかりやすいサイン表示が必要
- ・遊具は安全すぎるとかえってこどもの成長を妨げるのではないか、多少の危険を自分で経験できたほうがいい。
- ・荷物置場(ロッカー)は各フロアに必要

<安全面・セキュリティについて>

- ・医務室や保健室の設置が必要
- ・安全に過ごせるよう見守るボランティアの「見守り隊」の結成

<開館時間について>

- ・現在の児童館と同じが適正ではないか
- ・金、土や祝前日、保護者同伴の際は遅くまで利用可としてはどうか



ご参加いただいた皆様の期待に応える魅力ある施設となるよう、今回いただいた貴重な意見を反映し、設計業務を進めていきます。

設計業務の進捗状況については、広報こまきやホームページ等でお知らせしていきます。